



株式会社シー・エス・ランバー

東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
証券コード 7808

2021年5月期決算説明会


2021年7月27日開催



1. 当社の概要
2. 2021年5月期決算概要
3. 2022年5月期第2四半期業績予想
4. 中期経営計画2022の取組状況
5. 参考資料

Customer Satisfaction through Lumber

木材を通じて顧客に満足戴ける取引に徹する

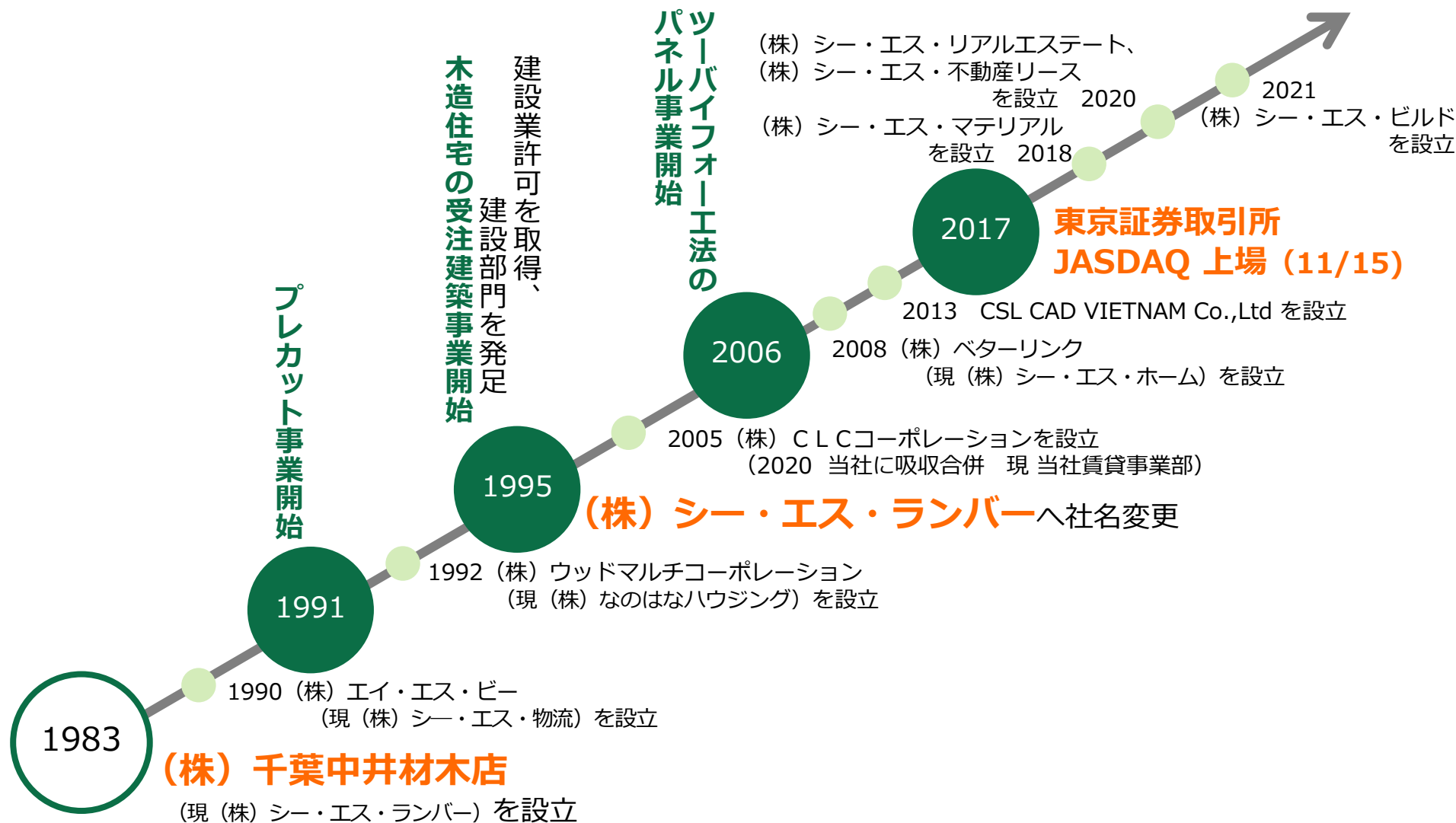
会社名	株式会社シー・エス・ランバー	 <p>幕張本郷 本社</p>
本社所在地	千葉県千葉市花見川区幕張本郷一丁目16番3号	
代表者	代表取締役社長 中井 千代助	
設立	1983年4月1日	
資本金	527百万円	
事業内容	<p>1:プレカット事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 在来軸組工法における設計、木材のプレカット加工及び販売 ● ツーバイフォー工法における設計、木材のプレカット加工、パネルの製造及び販売 <p>2: 建築請負事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 木造住宅・大型木造施設の建築請負 <p>3: 不動産賃貸事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 不動産賃貸・管理 <p>4: その他事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 不動産の販売 	
従業員数	連結 334名 他に臨時従業員 88名	

(2021年5月末現在)

シー・エス・ランバーのあゆみ



木材を熟知する材木店から、木造建築のトータルサービス企業へ



1. 当社の概要
2. 2021年5月期決算概要
3. 2022年5月期第2四半期業績予想
4. 中期経営計画2022の取組状況
5. 参考資料

2021年5月期 決算概要



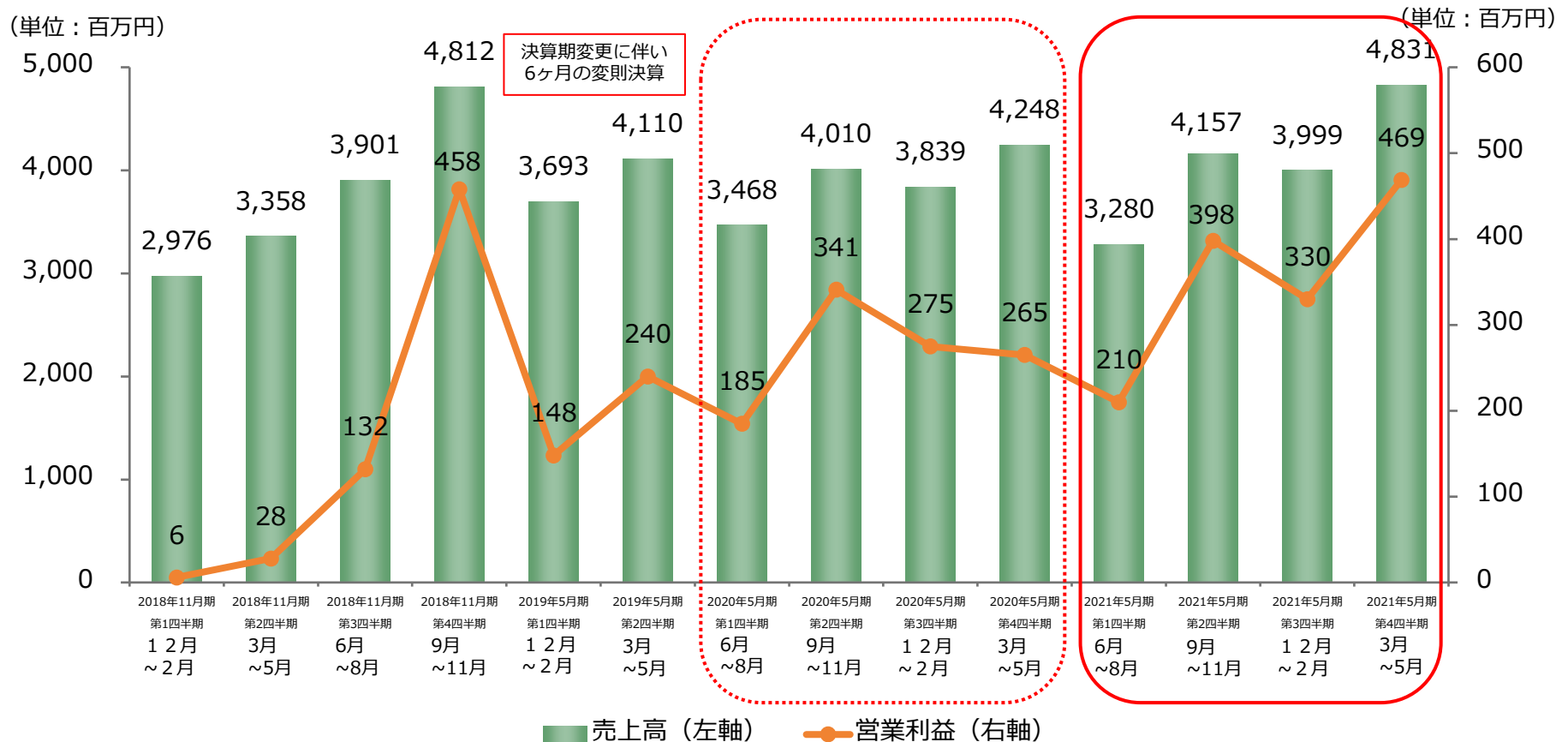
コロナ影響による受注減少や木材価格急騰・品不足という「動きの激しい期」であったが、従来からの営業基盤強化により売上が伸長、生産・配送の強化・効率化推進により原価が低減、結果として営業利益は増加

単位：百万円	2020年5月期		2021年5月期			
	実績		実績		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	15,565	100.0%	16,269	100.0%	704	4.5%
プレカット	12,328	79.2%	12,717	78.2%	388	3.2%
建築請負	3,750	24.1%	3,746	23.0%	△ 3	△ 0.1%
不動産賃貸	536	3.4%	624	3.8%	88	16.5%
その他	213	1.4%	381	2.3%	167	78.5%
粗利益	3,277	21.1%	3,650	22.4%	372	11.4%
プレカット	2,485	16.0%	2,748	16.9%	263	10.6%
建築請負	356	2.3%	382	2.4%	26	7.5%
不動産賃貸	412	2.7%	476	2.9%	64	15.6%
その他	31	0.2%	42	0.3%	11	35.8%
販売費及び一般管理費	2,209	14.2%	2,241	13.8%	31	1.4%
営業利益	1,068	6.9%	1,408	8.7%	340	31.8%
プレカット	581	3.7%	798	4.9%	217	37.4%
建築請負	48	0.3%	85	0.5%	37	77.8%
不動産賃貸	369	2.4%	459	2.8%	89	24.2%
その他	6	0.0%	12	0.1%	6	97.1%
経常利益	1,026	6.6%	1,343	8.3%	317	30.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	638	4.1%	890	5.5%	252	39.5%

2021年5月期 四半期業績推移



コロナウイルスを起因とする環境変化が激しい中、中期経営計画に沿った事業戦略がどの四半期も強化・拡大



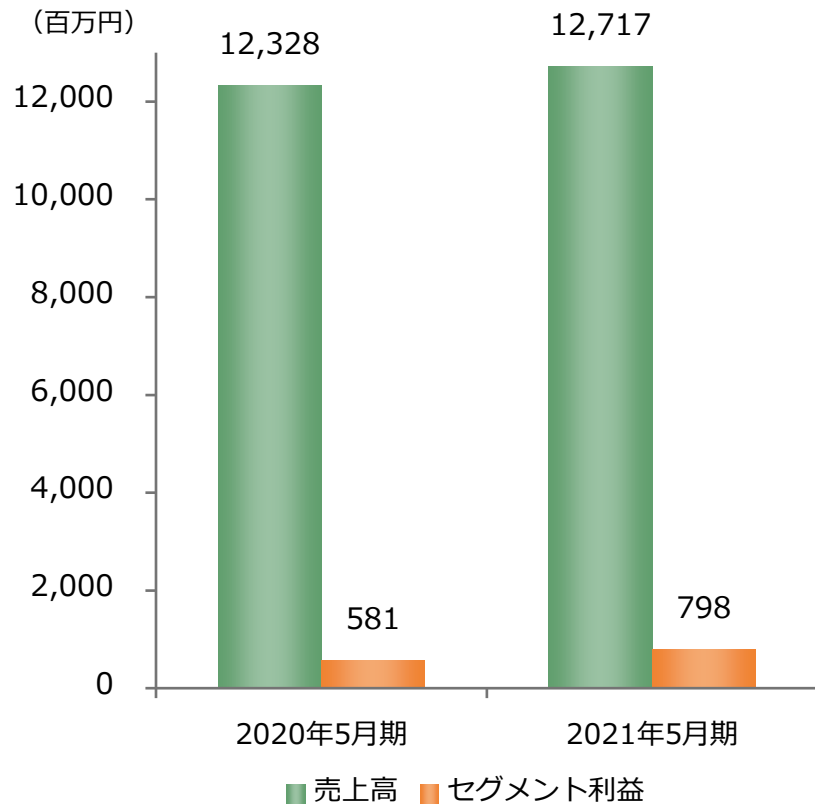
- ・ 2020年5月期は、上期においては、消費増税前の駆け込み需要の反動減を懸念したが、実際には通常通り案件を獲得することができ、下期においては、通常は閑散期でありながらも、営業・製造・配送の強化・効率化で事業の底上げを図ることができた。
- ・ 2021年5月期は、新型コロナウイルス感染症の影響による受注減少、在宅勤務などライフスタイルの変化も見越した住宅需要、木材価格の急騰と品不足（ウッドショック）と環境変化が激しい中、中期経営計画に沿った事業底上げを継続することができた。

2021年5月期 プレカット事業（前期比）



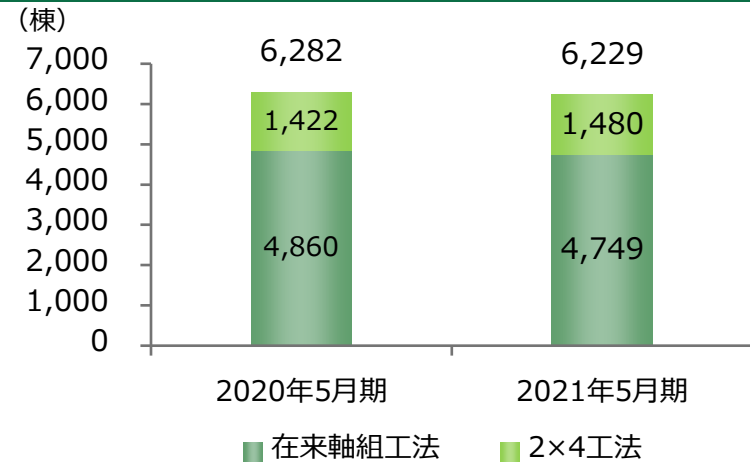
コロナの影響で出荷棟数も坪数も伸び悩んだが、原価低減努力と販売価格転嫁により利益率上昇。木材不足回避の樹種変更提案にも注力

売上高・セグメント利益

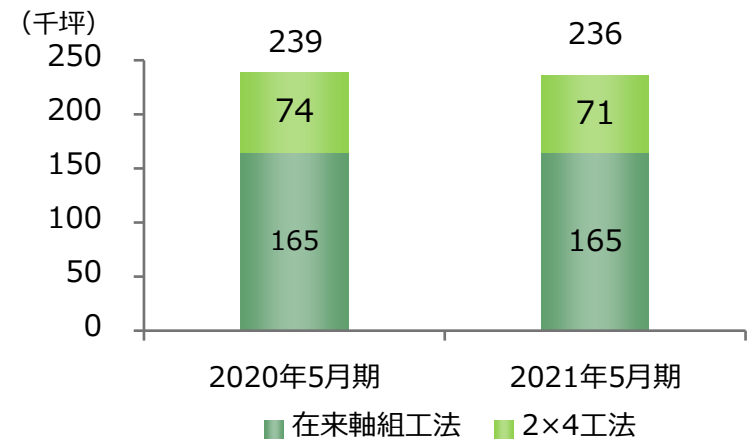


※歩留まり徹底の材木購入、工程上の無駄排除による生産性向上、新規先開拓や利幅確保、材料費削減、一括配送によるトラック台数削減や1台一日二便体制、など

出荷棟数

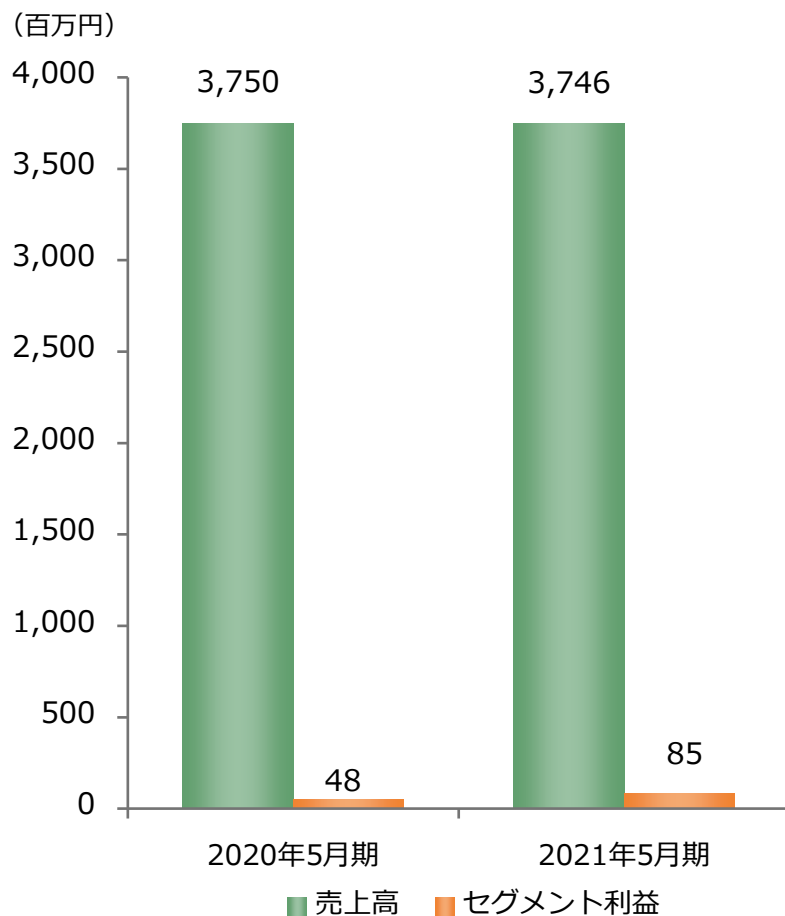


出荷坪数

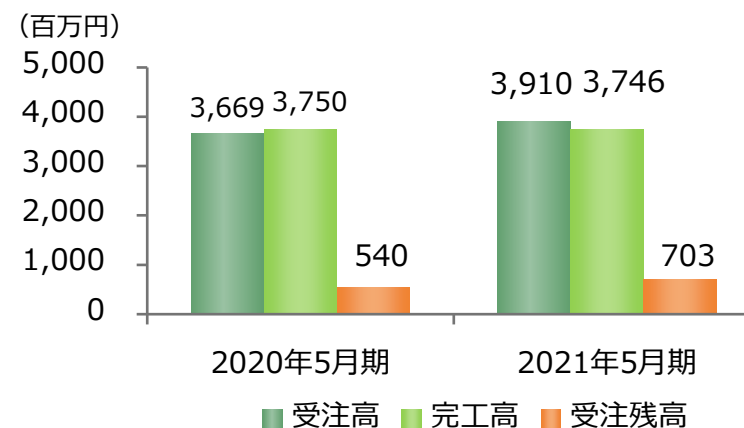


「新マネジメント体制」による管理徹底が寄与して利益確保。ただしまだ業績改善の途上にあり

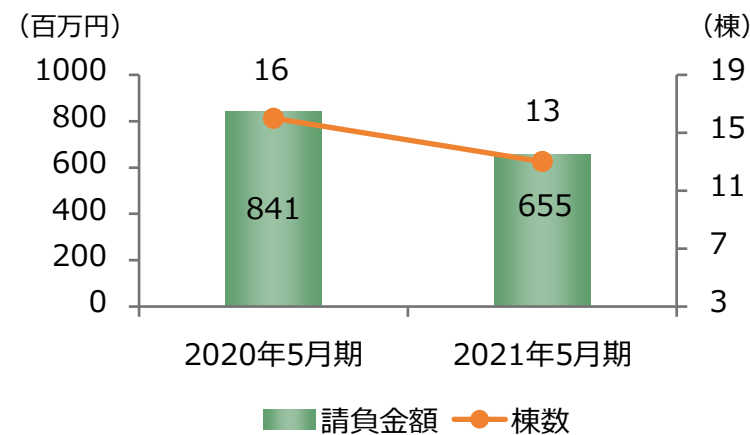
売上高・セグメント利益



受注・完工・受注残



大型(50坪以上)木造住宅・施設

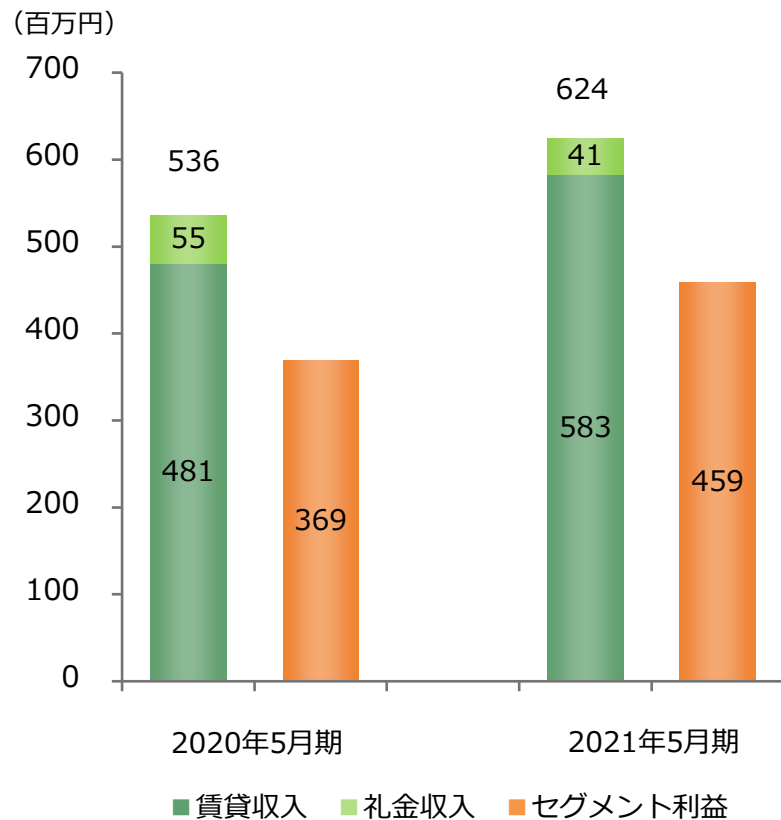


2021年5月期 不動産賃貸事業（前期比）



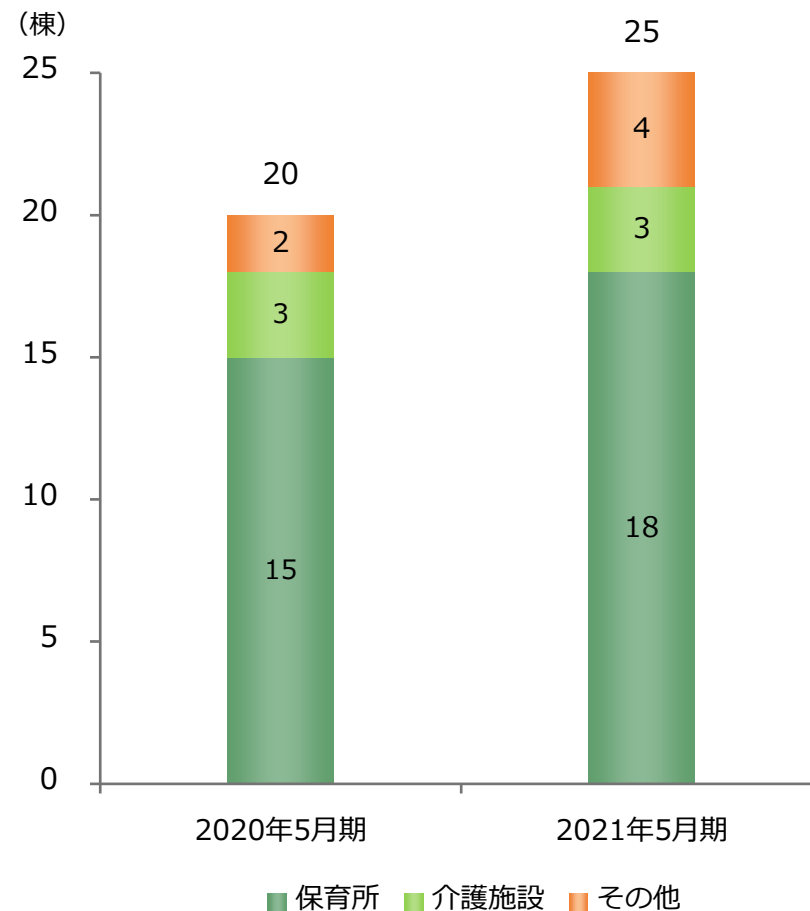
2021年4月に新規保育所2か所、10月に1か所開所。また駅近好立地・好住環境の共同住宅2棟を購入

売上高・セグメント利益



賃貸収入・礼金収入の推移は、36ページもご参照

賃貸及び管理棟数

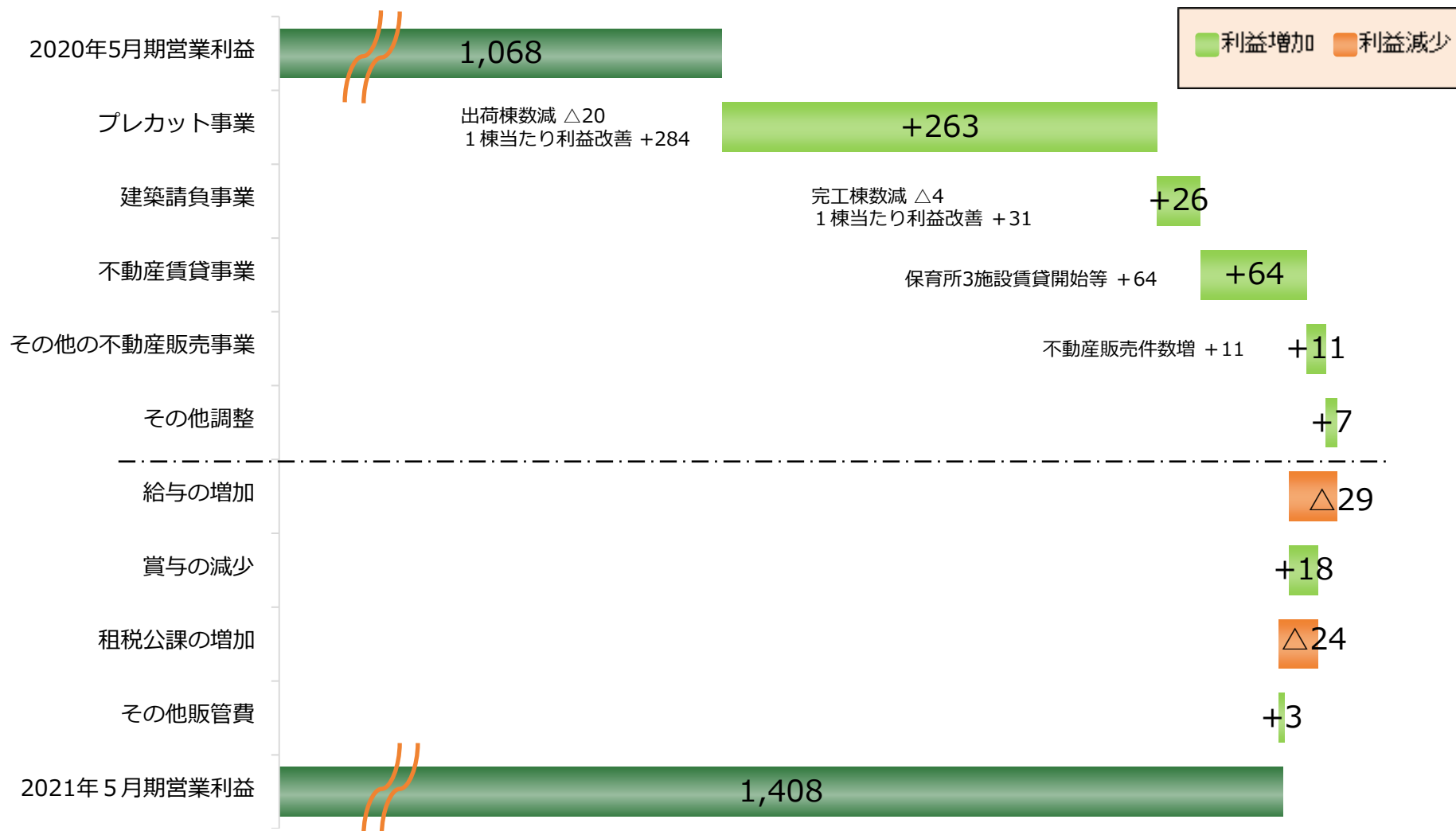


2021年5月期 営業利益の増減（前期比）



コロナ影響により数量は減少するも1棟あたり利益を確保。前期比340百万円の増益

(単位：百万円)



2021年5月期 貸借対照表



単位：百万円	2020年5月期		2021年5月期			
	実績		実績		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	6,048	41.4%	6,614	41.1%	565	9.4%
現金及び預金	2,312	15.8%	2,428	15.1%	116	5.0%
受取手形及び売掛金	2,599	17.8%	2,786	17.3%	187	7.2%
販売用不動産	364	2.5%	498	3.1%	133	36.7%
仕掛品	269	1.8%	344	2.1%	75	28.0%
原材料及び貯蔵品	338	2.3%	378	2.4%	39	11.8%
その他	164	1.1%	177	1.1%	12	7.9%
固定資産	8,576	58.6%	9,474	58.9%	898	10.5%
有形固定資産	7,988	54.6%	8,815	54.8%	826	10.3%
無形固定資産	152	1.0%	132	0.8%	△ 19	△ 12.8%
投資その他の資産	435	3.0%	526	3.3%	90	20.8%
資産合計	14,625	100.0%	16,089	100.0%	1,463	10.0%
流動負債	6,108	41.8%	6,097	37.9%	△ 10	△ 0.2%
支払手形及び買掛金	2,845	19.5%	3,048	18.9%	202	7.1%
短期借入金	1,113	7.6%	1,049	6.5%	△ 63	△ 5.7%
1年以内返済予定の長期借入金	701	4.8%	398	2.5%	△ 302	△ 43.2%
リース債務	206	1.4%	204	1.3%	△ 1	△ 0.9%
未払金	410	2.8%	380	2.4%	△ 29	△ 7.2%
その他	832	5.7%	1,015	6.3%	183	22.1%
固定負債	5,181	35.4%	5,794	36.0%	613	11.8%
長期借入金	4,178	28.6%	4,582	28.5%	404	9.7%
リース債務	577	3.9%	427	2.7%	△ 150	△ 26.1%
その他	425	2.9%	785	4.9%	359	84.5%
負債合計	11,290	77.2%	11,892	73.9%	602	5.3%
株主資本合計	3,277	22.4%	4,085	25.4%	808	24.7%
純資産合計	3,335	22.8%	4,196	26.1%	861	25.8%
負債純資産合計	14,625	100.0%	16,089	100.0%	1,463	10.0%

有形固定資産の増加826百万円は、
保育所建設と共同
住宅購入

営業活動によるキャッシュフローと投資活動によるキャッシュフローとがほぼバランス。投資回収資金を更なる投資に回すことができた

単位：百万円	2020年5月期実績	2021年5月期実績
営業活動によるキャッシュフロー	1,401	1,113
投資活動によるキャッシュフロー	△ 775	△ 1,167
財務活動によるキャッシュフロー	△ 62	148
現金及び現金同等物の増減額	563	95
現金及び現金同等物の期首残高	1,714	2,277
現金及び現金同等物の期末残高	2,277	2,373

単位：百万円	2020年5月期実績	2021年5月期実績
固定資産の取得による支出	787	1,160
減価償却費	407	412

1. 当社の概要
2. 2021年5月期決算概要
3. **2022年5月期第2四半期業績予想**
4. 中期経営計画2022の取組状況
5. 参考資料

2022年5月期第2四半期 業績予想



先行き不透明なウッドショックにより通期業績を見通すことが困難、第2四半期累計までの見通しを予想

単位：百万円	2021年5月期第2四半期		2022年5月期第2四半期		
	実績		予想		前年同期比
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	7,438	100.0%	8,900	100.0%	119.7%
プレカット	6,007	80.8%	6,500	73.0%	108.2%
建築請負	1,391	18.7%	1,700	19.1%	122.2%
不動産賃貸	298	4.0%	320	3.6%	107.4%
その他	232	3.1%	380	4.3%	163.8%
粗利益	1,700	22.9%	1,800	20.2%	105.9%
プレカット	1,304	17.5%	1,275	14.3%	97.8%
建築請負	142	1.9%	250	2.8%	176.1%
不動産賃貸	230	3.1%	240	2.7%	104.3%
その他	28	0.4%	45	0.5%	160.7%
営業利益	609	8.2%	640	7.2%	105.1%
プレカット	353	4.7%	345	3.9%	97.7%
建築請負	△9	△0.1%	30	0.3%	—
不動産賃貸	230	3.1%	240	2.7%	104.3%
その他	13	0.2%	20	0.2%	153.8%
経常利益	574	7.7%	600	6.7%	104.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	388	5.2%	400	4.5%	103.0%

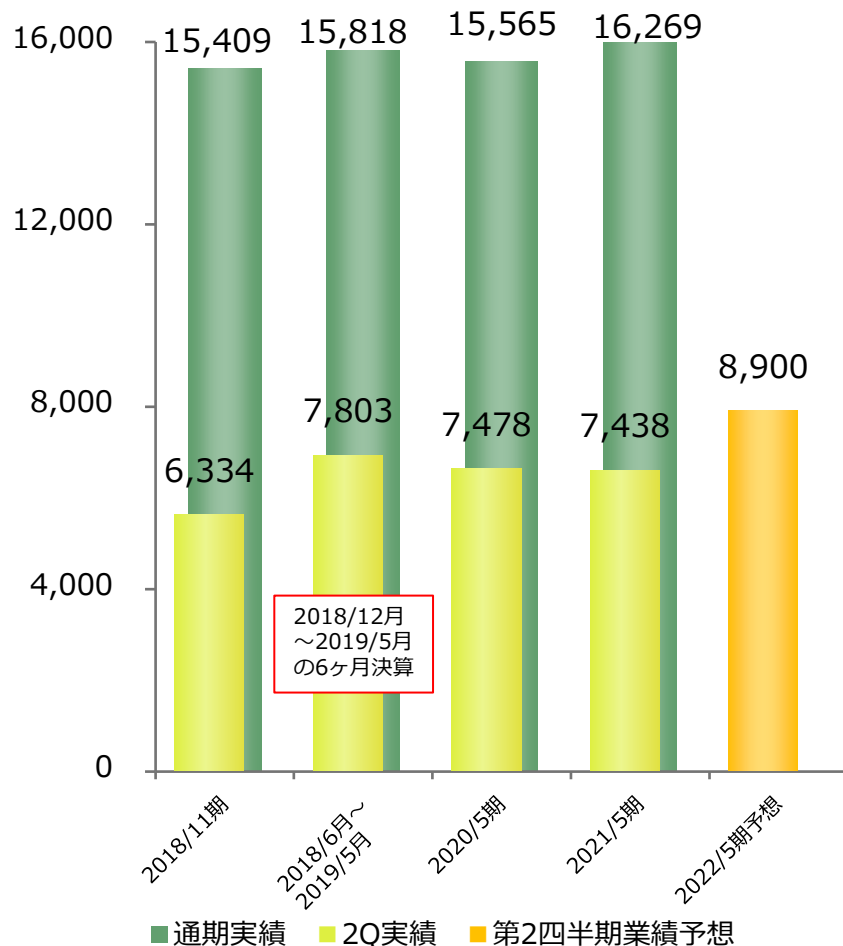
2022年5月期第2四半期業績予想 業績推移



2022年5月期第2四半期は、前年同期比で売上高は19.7%、営業利益は5.1%の成長を見込む

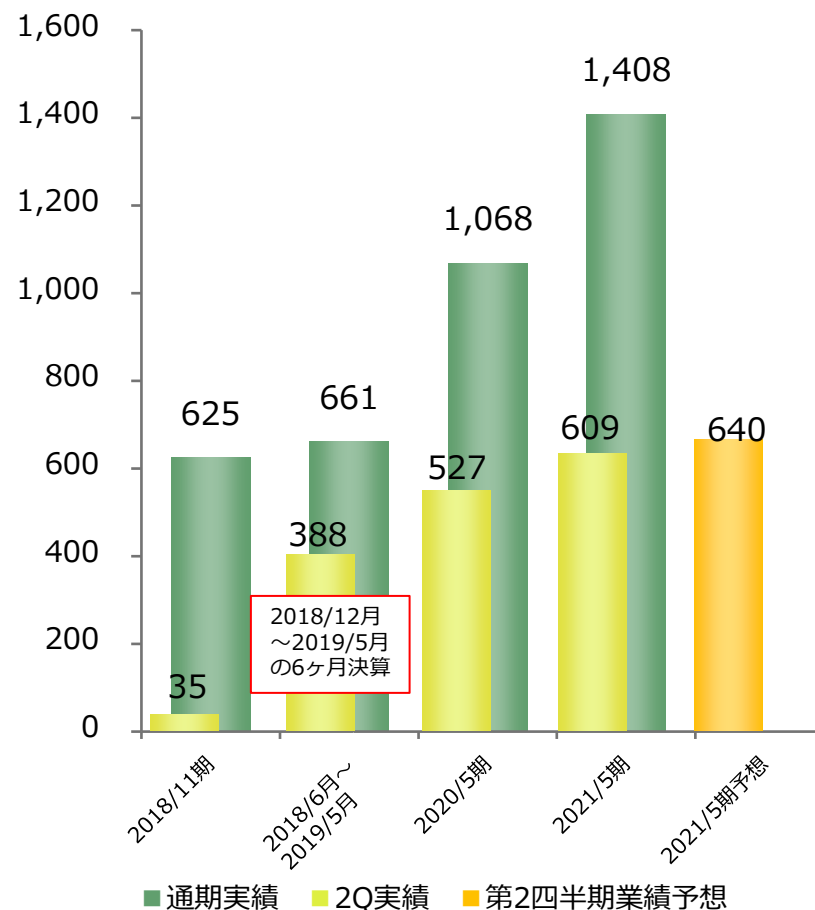
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)

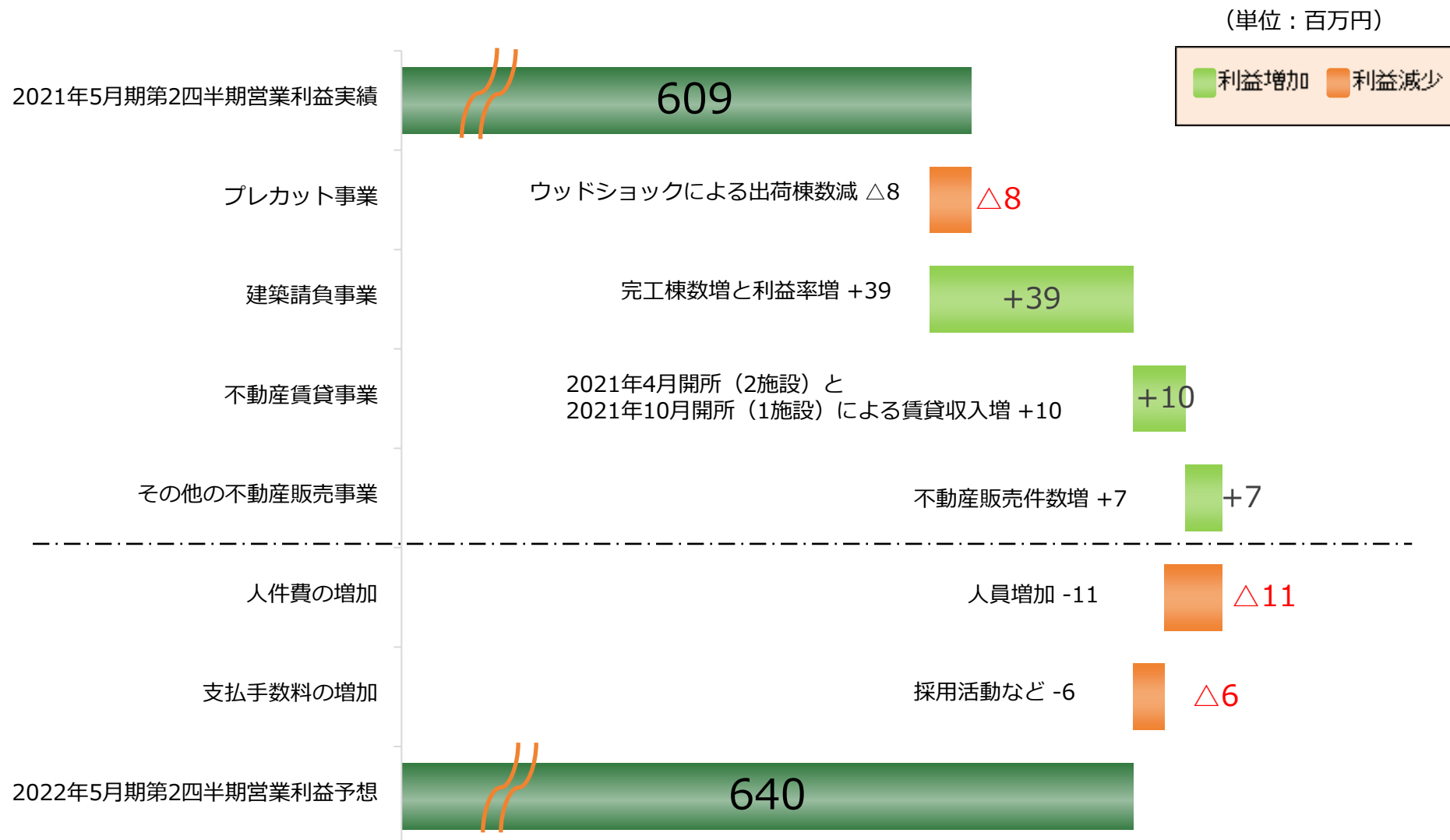


※2019年5月期は、特殊要因（消費税増税駆け込み需要効果）を除く値で読み替えを実施

2022年5月期第2四半期業績予想 営業利益予想分析



主に建築請負の伸長により増益を見込む。不確実な状況が続く中での営業利益予想は決して小さくない計画

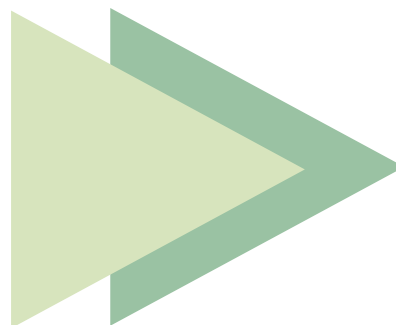


2022年5月期の配当は、通期の業績見通しを発表するタイミングで、速やかにお示しいたします。

配当政策の基本方針

将来の事業展開と
経営体質強化に必要な
内部留保の確保

継続性・安定性
(配当性向20%を目安)



経営成績に応じた
配当の実施

配当金額

2020年5月期 1株当たり年間配当金 : 50円 (期末50円)

2021年5月期 1株当たり年間配当金 : 50円 (期末50円)

1. 当社の概要
2. 2021年5月期決算概要
3. 2022年5月期第2四半期業績予想
4. 中期経営計画2022の取組状況
5. 参考資料

シー・エス・ランバーグループ社是

Customer Satisfaction through Lumber 木材を通じて顧客に満足戴ける取引に徹する

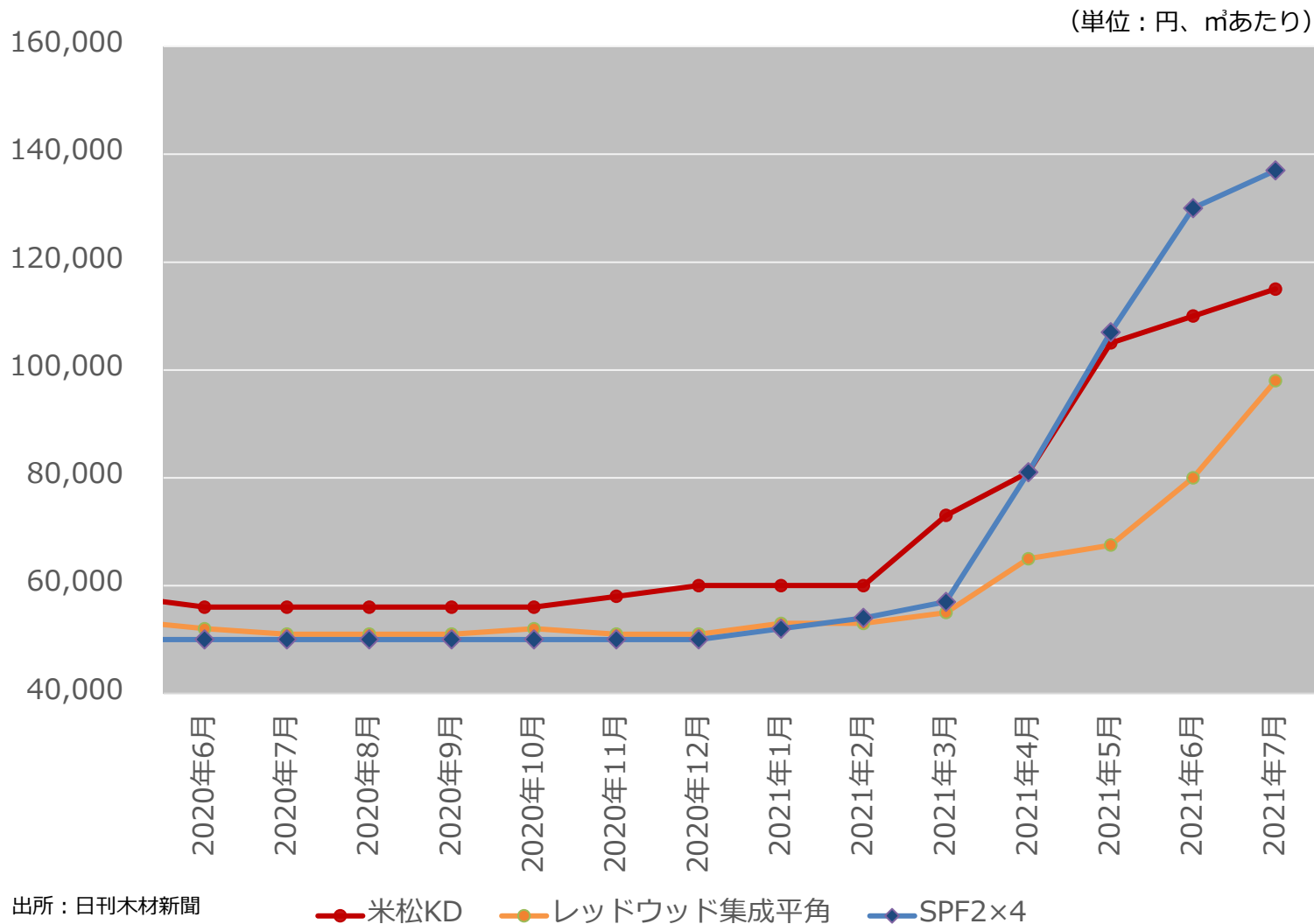


短期的な経営課題にしっかりと対応し安定した利益を確保すると同時に中長期的な経営課題をも見据えた施策を実施し持続的成長軌道に乗せる

木材価格動向

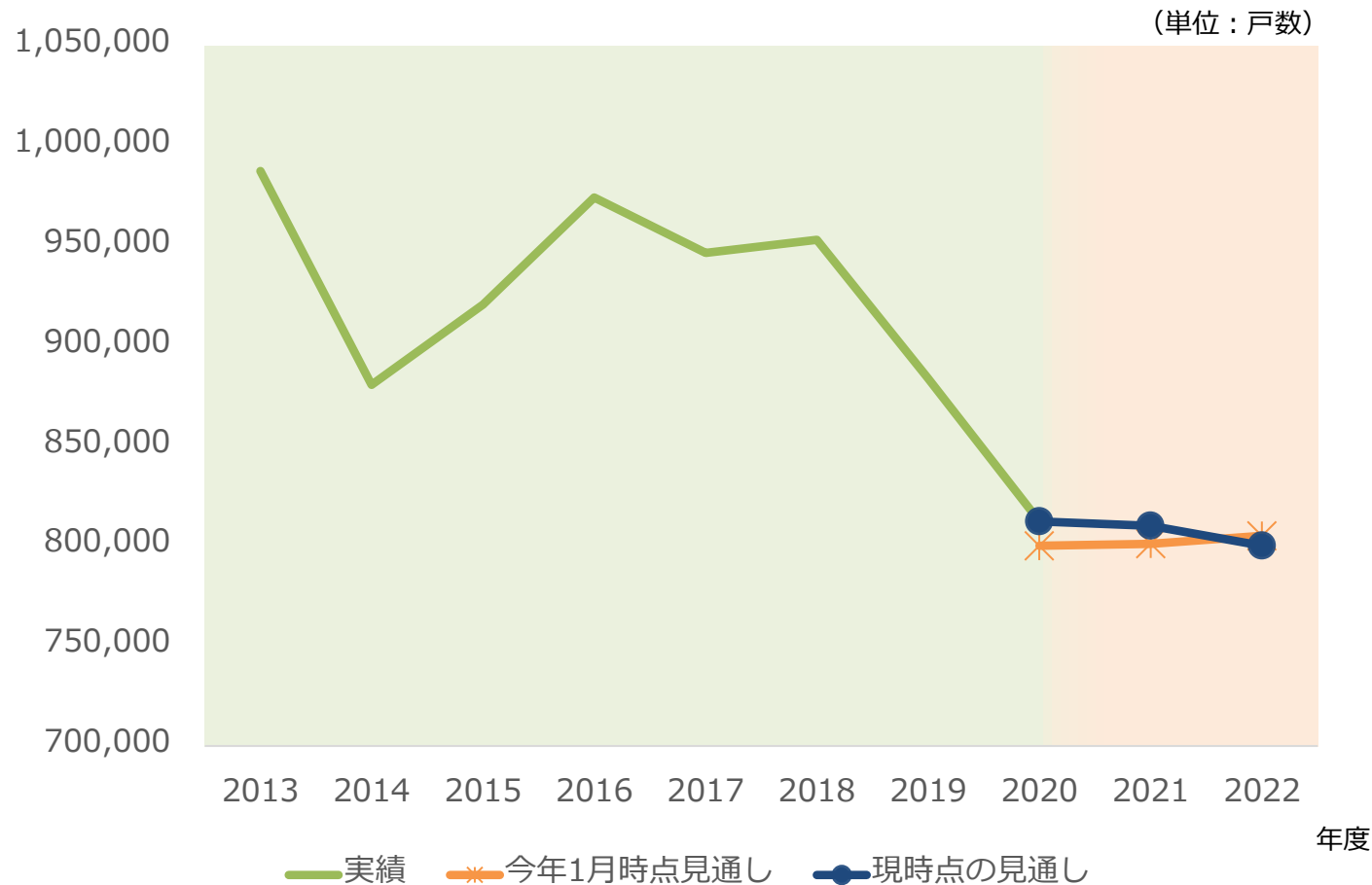


今年3月から木材価格は今までにないスピードで高騰、更には材料不足への不安も顕著化



市場見通し (年度別新設住宅着工戸数)

在宅勤務の浸透により、より快適な住環境を求める消費者ニーズはまだ継続するものの、木材価格の高騰により購入時期を再検討する動きも想定されるため、若干弱含むと予想する。

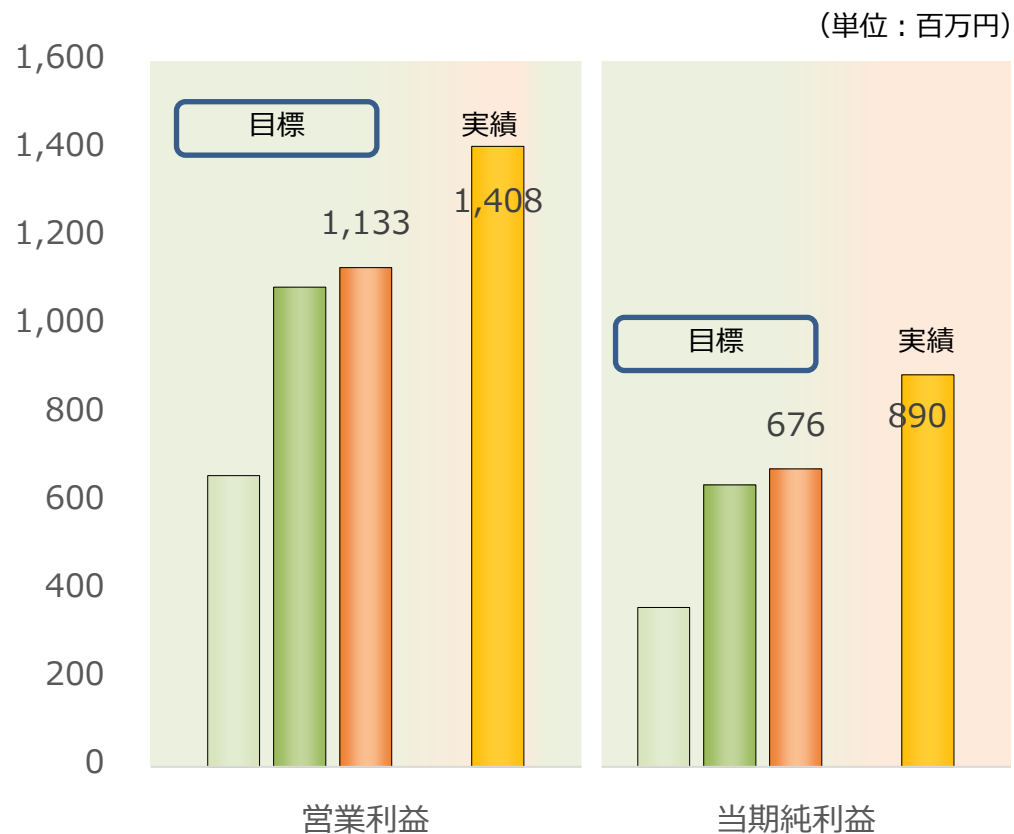
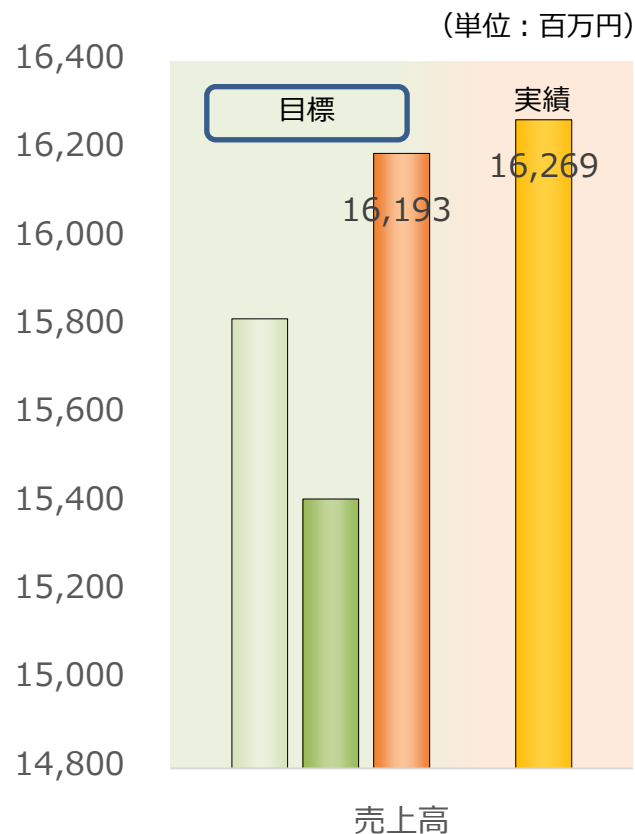


出所：国土交通省 住宅着工統計
 参考：三菱UFJリサーチ&コンサルティング、野村総合研究所、日刊木材新聞 これらより当社作成

前期公表した中期業績目標と実績



2021年5月期実績は、修正した2021年のみならず2022年の目標も達成



- 2019年5月実績 (特殊要因除く)
- 2021年5月目標 (2020年7月発表)
- 2022年5月目標 (2020年7月発表)
- 2021年5月実績

2022年の目標は厳しい環境であったものの一年前倒しで達成。2022年5月期の新しい通期目標は、ウッドショックの見通しが見極められた段階で改めてお示しいたします。

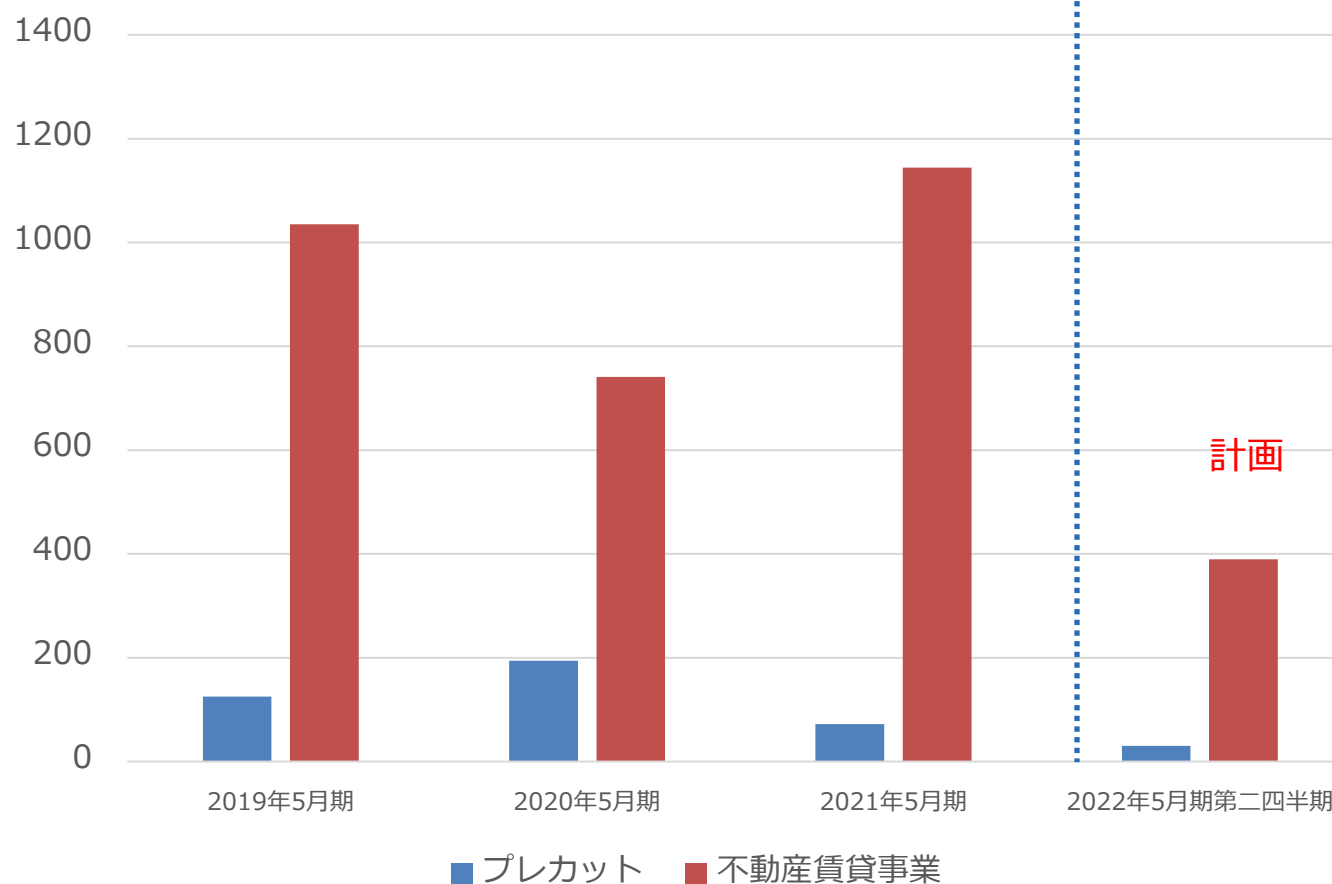
(単位：百万円)

	2019/5	2021/5	2022/5 通期 当初業績 目標	2022/5 第2四半期 新業績 目標
	実績	実績		
売上高	15,818	16,269	16,193	8,900
営業利益	661	1,408	1,133	640
当期純利益	362	890	676	400

※2019年5月期は、特殊要因（消費税増税駆込み需要効果）を除く値で読み替えを実施

ウッドショックによる不透明な環境下でも、将来の安定収入を確保するためにも不動産賃貸事業を中心に、投資を継続していきます。

(単位：百万円)



①プレカット事業

建て方職人体制を構築

2021年6月に建て方事業に特化した子会社（株式会社シー・エス・ビルド）を設立し、外国人を中心とした建て方職人を育成することで、加工、物流、建て方まで一気通貫となる体制構築を行う。職人不足が進む中、プレカット販売の有力なオプションとする。ただし、新型コロナウイルス感染拡大による入国制限により、2022年5月に予定していた規模（20～30名）には遅れが見込まれる。

ログハウスの加工について100%内製化を実現

住宅地の景観に溶け込むことができる角ログの加工に加えて、メンテナンスフリーとなる構造・建材、日常生活をするのに使い勝手の良い内装を提供することにより、新たな市場を開拓する。

営業部門の強化

新規取引先開拓と既存顧客対応を行う営業スタッフを分け、目標と責任を明確化することで、住宅市場が縮小する中でシェアを拡大する。

大型木造建築への参入

大型木造建築のメリットが認知され需要拡大が見込まれる中で、一般流通材で最大スパン「40m」の無柱空間を実現できるATAハイブリッドトラス構法の加工体制を構築し、プレカット販売を拡大する。

物流の効率化

割安な午後便の活用による一日2便/台配送の拡大や、大型トラック、トレーラー牽引による配送台数そのものを減らす施策により、配送面のコスト競争力を強化しプレカット収益に貢献する。

<p>②建築請負事業</p>	<p>ログハウスと大型建築物の受注に注力し、プレカットとのシナジー効果によるグループベースでの利益向上に貢献する。</p> <p>保育所建築の実績で評価をいただいている保育所運営会社からの紹介などにより、他社の新規保育所計画からも建築請負の受注獲得に取り組む。</p> <p>新規住宅着工戸数が落ち込む中で、リフォームニーズは高まることが想定されることから、リフォーム工事の受注体制を整備する。</p>
<p>③不動産賃貸事業</p>	<p>保育所の賃貸保有数を引き続き拡大していくとともに、賃貸業専門の子会社であるシー・エス・不動産リースにおいて、住居用及び介護向け賃貸施設など新たな賃貸収益物件を取得していくことにより、安定した賃料収入を確保する体制を整備する。</p>
<p>④その他不動産販売事業</p>	<p>木造戸建て住宅を一般消費者へ直接提案するシー・エス・リアルエステートを設立。当社グループのシナジー効果を最大限活用した在来軸組工法、ツーバイフォー工法のどちらでも提案できる対応を推進することで、他社との差別化を図る。</p>

<p>⑤ その他の事業</p>	<p>プレカットの副産物であるおが粉販売の100%内製化を達成し、リサイクルを促進し売上にも貢献する。</p> <p>おが粉同様にプレカットの端材についても、バイオマス用燃料チップとしての販売に取り組む。</p>
<p>⑥ 財務体質の改善</p>	<p>賃貸事業の借入期間を短期化することで、財務体質の大幅な改善を指向する。</p>
<p>⑦ 人財開発等</p>	<p>グループ各社との親和性が高い良い案件があれば、積極的にM&Aによる事業拡大を推進する。</p> <p>そこで重要になるのが、会社の改革とCSLのカルチャーを浸透させることができる人財の採用と育成となるため、採用の多様化と機動的な人員配置、教育体制の構築をフェーズ1で対応する。</p> <p>報酬制度を含む人事制度改革により、ガバナンス強化とROAの改善に取り組む。</p>
<p>⑧ ガバナンス強化</p>	<p>東証新市場に向けたプロジェクトチームを立ち上げ、コーポレートガバナンスコード全適用に十分に対応できる体制を構築する。</p>



NARITA NAMIKI 災害時に備えて 全14区画 電気のある家!! 1,480万円(税込) 建築条件付き土地

建物標準装備

- 太陽光発電パネル 4Kw 光熱費・環境に優しい
- 蓄電池システム 4Kw 災害・停電時にも余った電気を溜めて使う
- 1階全床下冷暖房システム 24時間快適生活・気持ちの良い朝の目覚め
- スマートエルラインライト HV車、PHV車、EV車のコンセントから住宅内へ電力供給(対応車種、電源容量は確認)

仲介手数料なし

14区画

選べる工法

- 在来工法 → 間取りが自由に出来る
- 2×4工法 → 地震に強い

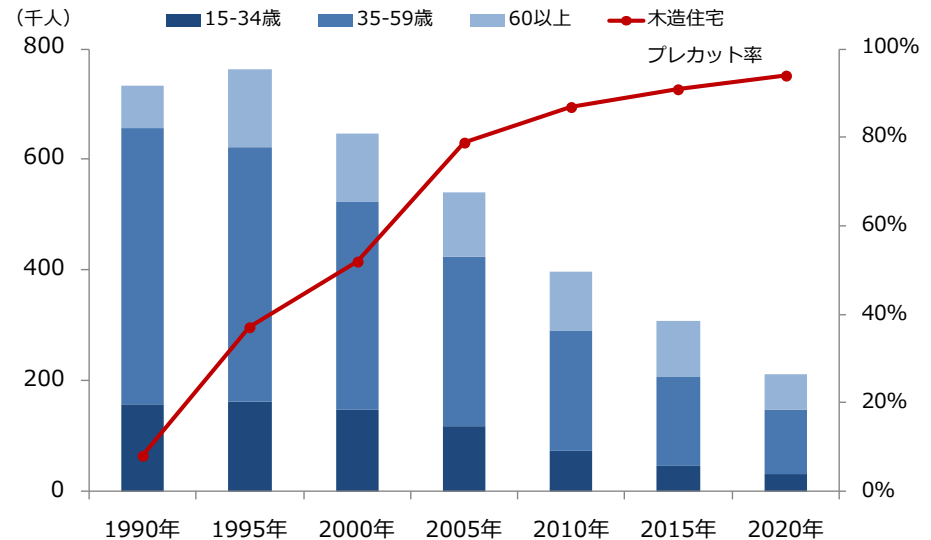
地球環境に優しい木材を使うだけでなく、全床下冷暖房システムなどエネルギー消費量の少ない住宅設備を積極的に取り入れ、最後の最後までエコを追求した住宅をご提案します。

また地震、台風、集中豪雨などが増えてきた日本において、現在の住宅の停電時脆弱性を抜本的に改善させます。停電時に、ハイブリットカー・電気自動車を作った電気自家発電します。

これまでの当社成長を支援してくださった千葉県に恩返しをする意味も持っています。次世代の子供たちのためにできることを模索していきます。



年齢別大工就業者数と軸組木造住宅のプレカット率



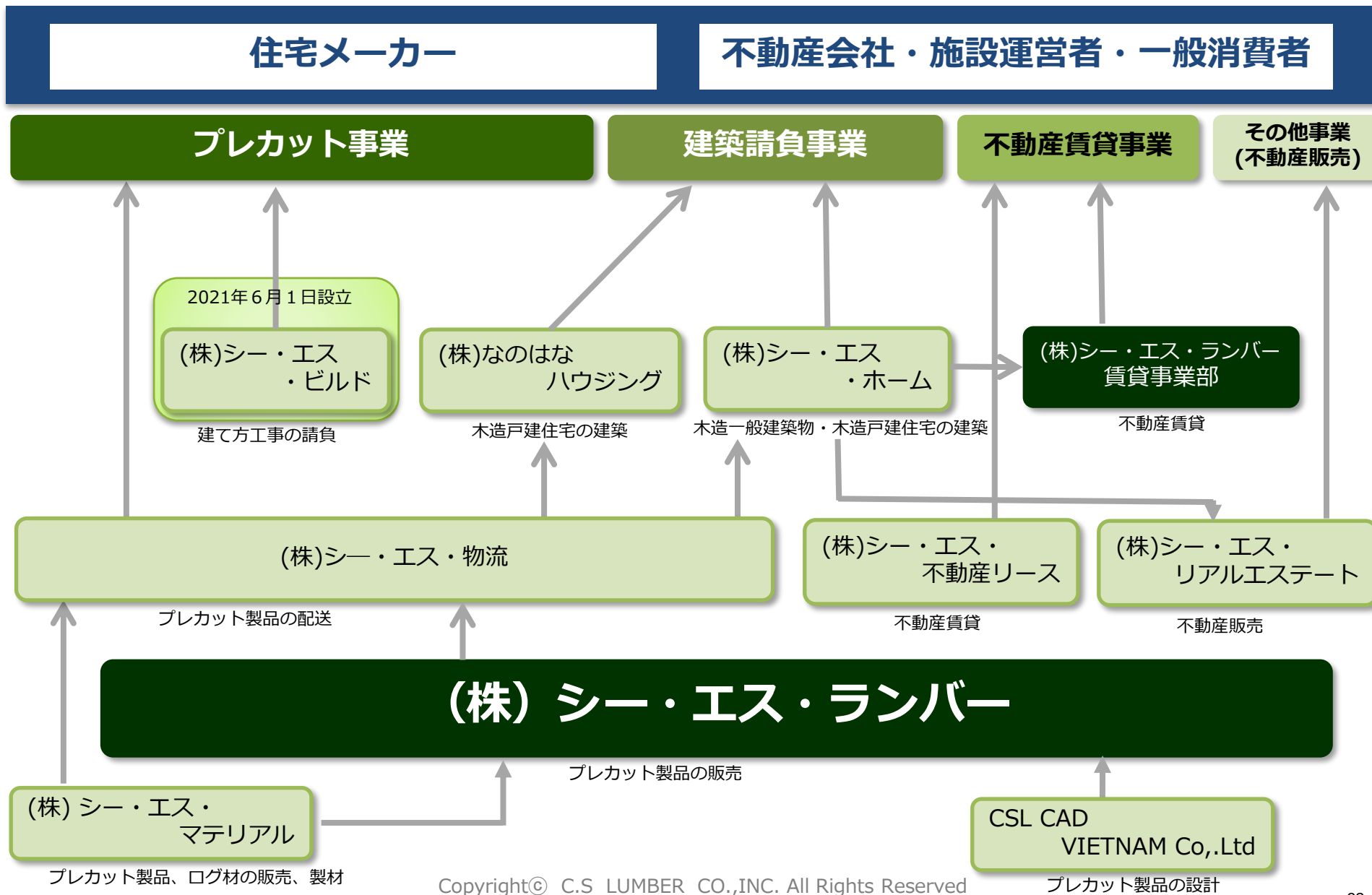
出所：総務省「国勢調査」、一般社団法人全国木造住宅機械プレカット協会、住環境価値向上事業協同組合「大工の育成と雇用形態 平成25年度」一般社団法人木を活かす建築推進協議会、より当社作成

右側のグラフのように、大工就業者数は年々減っており、この25年間で80万人から20万人へと、四分の一になっています。しかも、若い世代でなり手が大幅に減っています。

「建て方職人体制の構築」を事業戦略のひとつに掲げてこの人手不足を補っております。しかしその戦略迅速化を図って、建て方職人手配の専業会社である株式会社シー・エス・ビルドを2021年6月に設立しました。

外国人技能実習制度を活用して社内大工を増やすとともに、業務委託する一人親方の仕事量安定化にも寄与していきます。

1. 当社の概要
2. 2021年5月期決算概要
3. 2022年5月期第2四半期業績予想
4. 中期経営計画2022の取組状況
5. **参考資料**



事業概要 (1) プレカット事業①



在来軸組工法における設計 (CAD)、木材のプレカット加工及び販売
ツーバイフォー工法における設計、木材のプレカット加工、パネルの製造及び販売

「木造建築の主要2工法に対応」した加工・販売

在来軸組工法 (山武工場)

日本で最も主流の工法
基礎の上に木の土台を据えて、柱と柱を梁で水平につぎ、
対角線を筋交いで補触する

ISO9001 : 2015認定
登録証番号 : JQA-QM8720
登録活動範囲 :
木造住宅用プレカット材の
設計、製造



(財)日本住宅・木材技術センター認定

優良木質建材等認証
CSL高耐久性機械ブ
レカット部材 (2種-
ACQ)



認証番号 AQ-099-A1-1



ツーバイフォー工法 (東金工場)

枠状に組まれたツーバイ材に構造用合板を打ち付けた壁や
床 (面材) で支える「枠組み」構造
隙間が大変少なく、気密性・防音性に優れている

JAS認定工場 (全国木材検査・研究協会)

認定番号 : JLIRA-A-016

認定品目 :

枠組壁工法構造用製材

認定区分 :

人工乾燥枠組壁工法構造用製材



北欧などからの製品輸入が中心のログハウスプレカット事業に参入 (2019年)



カントリーテイストのある木造家屋が都市部住宅街にも建ち始めている傾向を捉え、ログハウスメーカーとタイアップしてプレカットを開始
在来軸組工法、ツーバイフォー工法の技術も必要とされており、親和性大

プレカット事業を軸に、建築請負事業も展開している

ATAハイブリッドトラス構法のプレカット事業に参入 (2020年)

「無柱大空間を可能にした非住宅・中大規模木造トラス構法」を生んだ株式会社ATA (アタ社) 様の提携プレカット工場となる

商業・工場・スポーツ施設など建物用途は多岐多様、時代の流れは鉄骨から木造へ



事業概要 (2) 建築請負事業



木造戸建住宅・木造一般建築物の建築（大型木造施設等）の建築請負

当社のプレカット製品を仕入れて、
木造住宅・保育所等の大型木造施設を合わせ
年間約200棟以上施工



茂原市介護施設

- ・構造：木造2階建
- ・延床：996.26㎡
- ・居室数：23室



なのはなモデルハウスA棟

事業概要 (3) 不動産賃貸事業



長期安定契約を基本方針とした不動産賃貸及び管理



保育所 (中野区)

- ・ 構造 : 木造 2 階建
- ・ 土地 : 483.41㎡
- ・ 延床 : 357.74㎡
- ・ 定員数 : 63名
- ・ 契約期間 : 2020.1.1
~2040.3.31

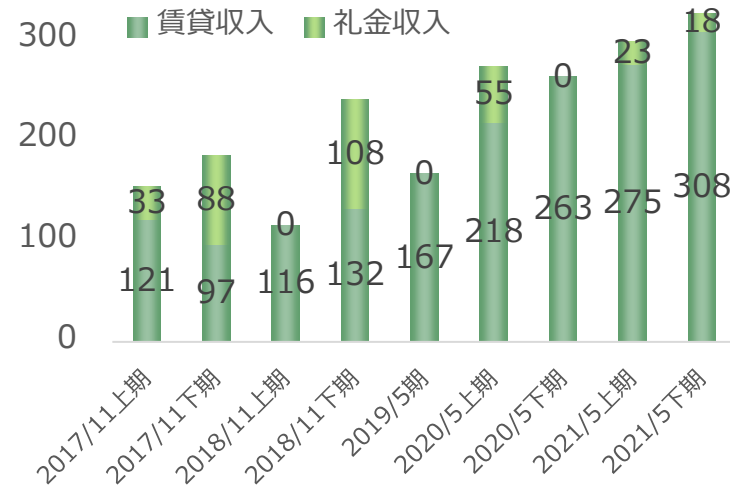
保育所 (文京区)

- ・ 構造 : 鉄骨造 3 階建
- ・ 土地 : 254.18㎡
- ・ 延床 : 378.00㎡
- ・ 定員数 : 59名
- ・ 契約期間 : 2019.11.1
~2040.3.31



賃貸収入・礼金収入の推移

(単位 : 百万円)



2017年に賃貸物件の一部を売却したため、2017年下期は賃貸収入が減少

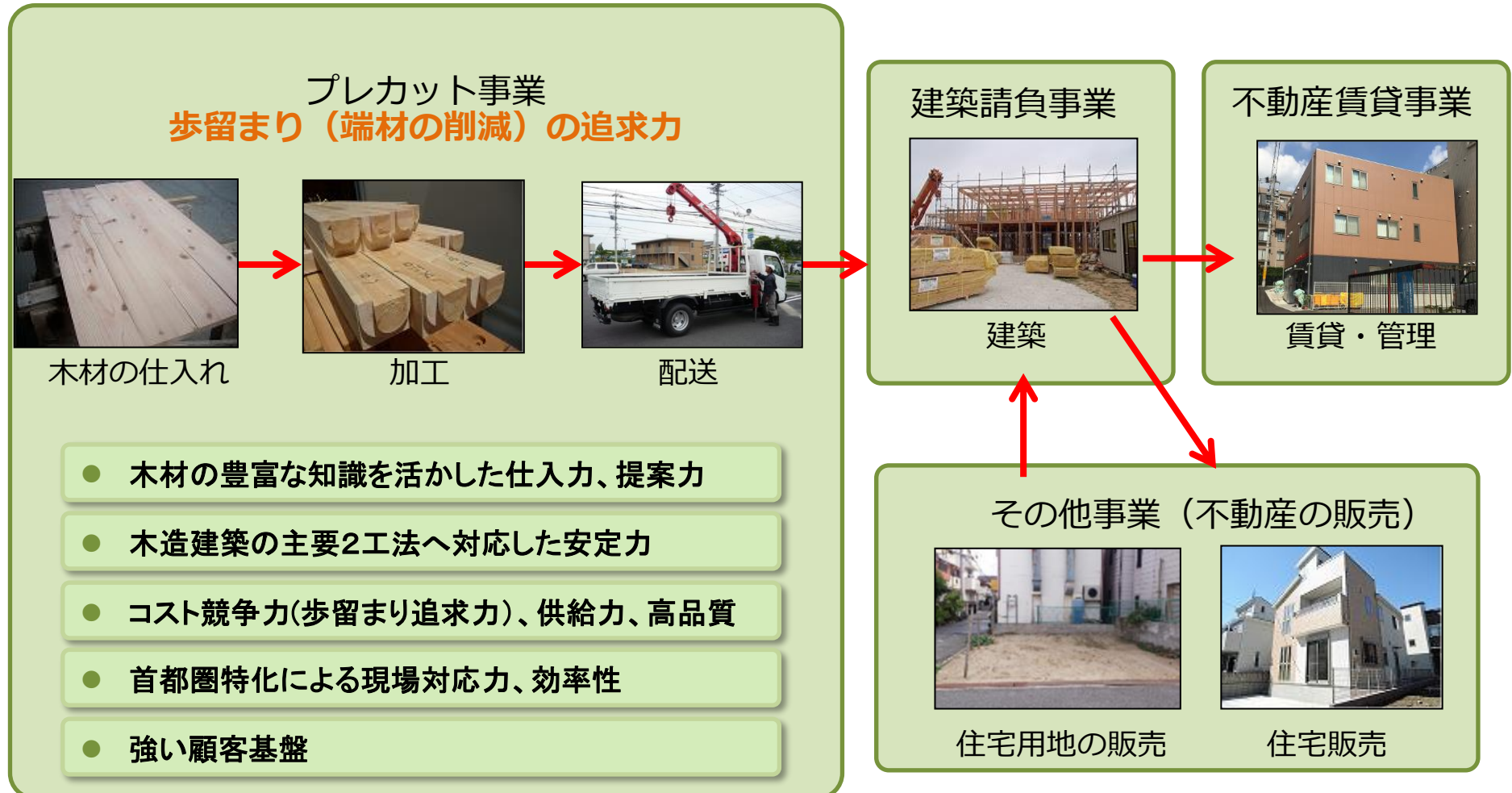


保育所 (台東区)

- ・ 構造 : 鉄骨造 4 階建
- ・ 土地 : 155.34㎡
- ・ 延床 : 387.44㎡
- ・ 定員数 : 60名
- ・ 契約期間 : 2018.10.1
~2034.3.31

付加価値を創造する木造建築のトータルサービス

- 材木店経営で培った木材（業界）に関する豊富な知識を活かし、木材の仕入れから加工、建築、賃貸・販売までグループ内で行うことで、付加価値を創造



当社の強み（2）プレカット事業（在来軸組工法 山武工場）



ピッキングシステムと新式プレカット加工ラインの導入により、**高い歩留まり・生産性を実現**

ピッキングシステム（邸別ピッキング用自動倉庫）

更なる「歩留まり追求」を目的に導入

⇒ **歩留まりが約10%向上**

- ・コンピュータ制御による在庫管理技術の向上に伴い、必要な木材のより適切な仕入れが可能となり、**材料費を削減**
- ・材料の木材の入庫、出庫の自動化により、**生産性も向上**



新式プレカット加工ライン



- ・加工能力向上に加え、従来難しかった複雑な加工も可能になり機械化率が上昇し、**生産性も向上**
- ・製品の**品質安定化**にも貢献

全部位 (壁・床・屋根) のパネルを加工し、現場に配送

- ・ 建築現場における工数が大幅に削減される他、高度技術者も不要となり、**付加価値の高い製品**を提供



壁パネル



床パネル



屋根パネル

大量かつ安定供給が可能な東金工場

- ・ **広大な敷地 (62,467㎡)** の東金工場に設備を集約し、パネルの**大量生産・保管、安定供給体制**を確保
- ・ 東金インターから約10分の好立地で、**効率化された自社配送**

機械化が進んだ生産ライン

- ・ 在来軸組工法で培ったノウハウを活かし、**機械化を推進**
複雑な形状の加工においても機械化を進め、高品質、高い生産性を確保



マルチカットライン
(木材のカット)



マルチカット製品



パネルシージングライン
(自動釘打ちマシン)

ベトナム子会社でのCAD設計

標準的な建物の設計を行い、**コスト低減**

- クロス (直切り) カットライン 2ライン
- マルチカットライン 2ライン
- パネルシージングライン 2ライン

当社の強み (4) プレカット事業 (首都圏に特化)

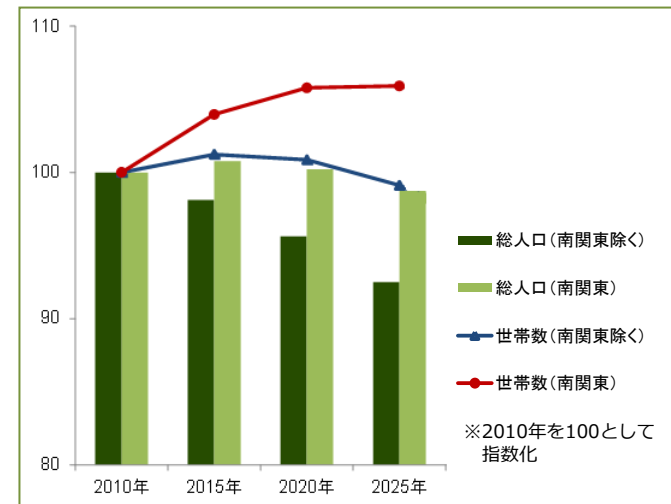


人口が集中する首都圏(1都5県)に絞った生産・営業拠点



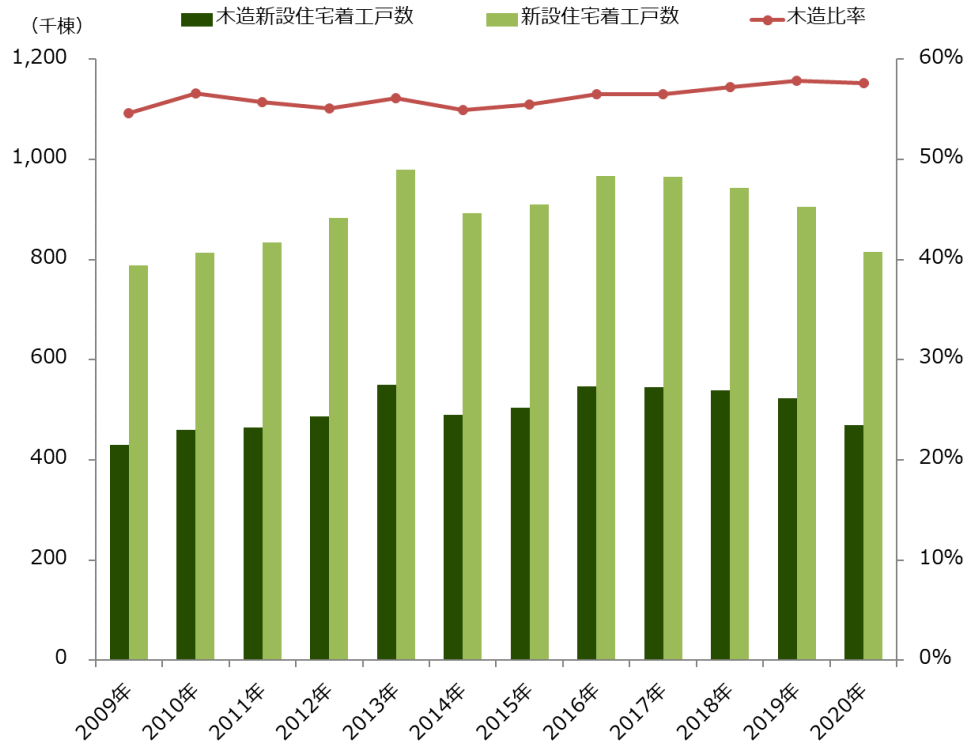
展開エリアを絞ることにより

- ・お客様のニーズへの迅速な対応 (企画・設計・アフターサービス)
 - ・営業効率
 - ・配送効率
- 生産性向上による
コスト競争力



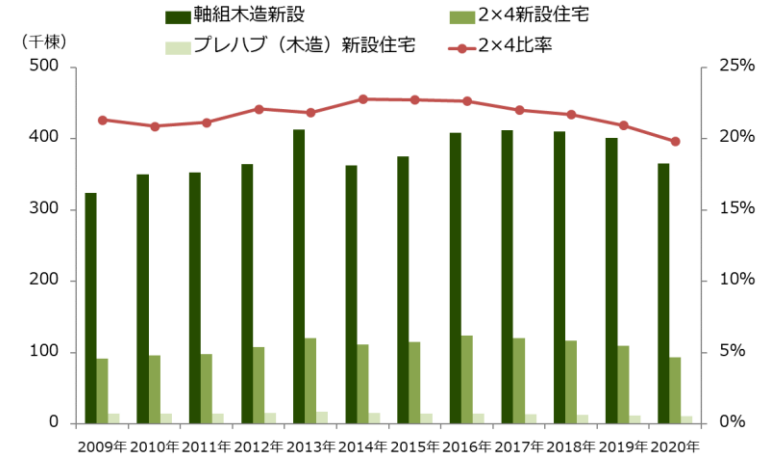
出所：国立社会保障・人口問題研究所「全国人口将来推計」より当社作成

新設住宅着工戸数に占める木造新設住宅着工戸数の割合



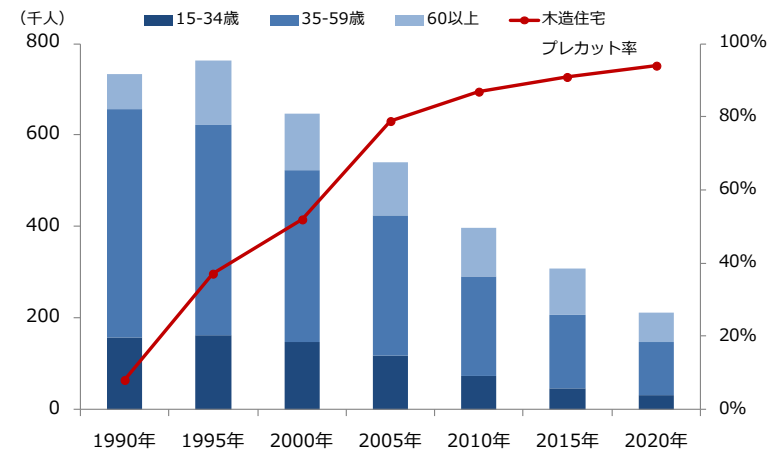
出所：国土交通省総合政策局情報管理部建設調査統計課資料より当社作成

工法別木造新設住宅着工戸数とツーバイフォー比率



出所：国土交通省総合政策局情報管理部建設調査統計課資料より当社作成

年齢別大工就業者数と軸組木造住宅のプレカット率

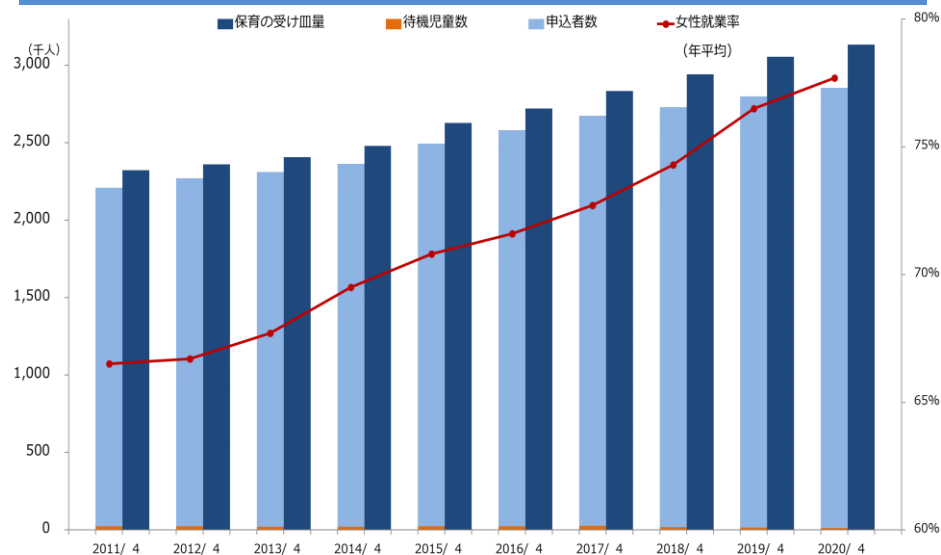


出所：総務省「国勢調査」、一般社団法人全国木造住宅機械プレカット協会、住環境価値向上事業協同組合「大工の育成と雇用形態 平成25年度」一般社団法人 木を活かす建築推進協議会より当社作成

待機児童数の状況

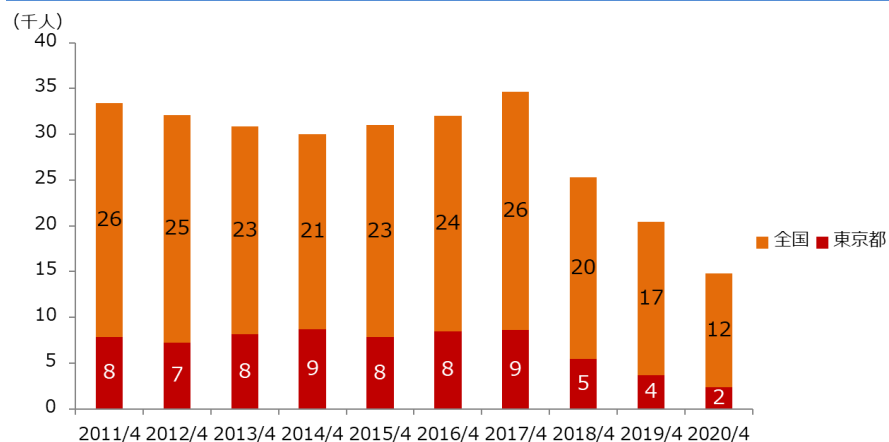


女性就業率、保育所受け皿量、待機児童数の推移



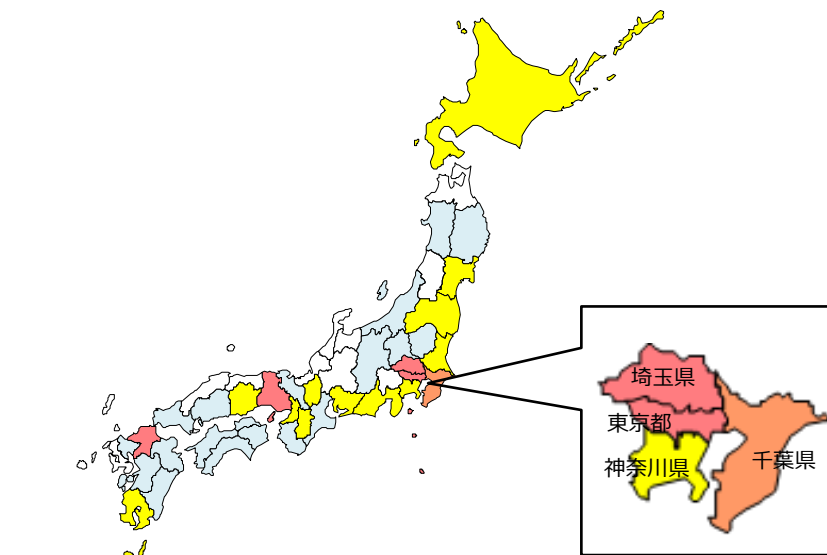
出所：厚生労働省「待機児童及び待機児童解消加速化プランの状況について」より当社作成

全国待機児童数に占める東京都の割合



出所：都福祉保健局公表資料「保育サービス利用状況等について」より当社作成

地域別待機児童数の状況



カーボンニュートラルー脱炭素社会の実現に向け、木材資源の有効活用を推進

環境 (Environment)

カーボンニュートラルー脱炭素社会の実現に向けて、二酸化炭素を貯蔵する働きのある木材資源の有効活用を推進

木材資源に関する3R活動を推進

- ① **Reduce (削減)** :
木材をプレカット加工する際に発生する端材の量を削減
例) ムダな端材が発生しないような寸法の木材を調達
- ② **Reuse (再利用)** :
端材を別の製品の材料として再利用
例) 構造材や端柄材の加工の際に発生した端材を短材プレカットの材料として利用
- ③ **Recycle (再資源化)** :
端材を再生資源として再利用
例) プレカット製品の材料として再利用することができない端材を製紙用、バイオマス燃料用のウッドチップとして加工

社会 (Social)

製品・サービスの品質保証の推進

- ・ ISO9001の取得
(「木材住宅プレカット材の設計、製造」など)
- ・ JAS認定工場 (東金工場)
- ・ 優良木質建材等認証 (AQ認証)
(山武工場、シー・エス・マテリアル)

少子化・待機児童対策への貢献

- ・ 保育所の賃貸事業を都内を中心に積極的に展開、施設数も年々増加

企業統治 (Governance)

社内での啓蒙活動の推進

- ・ コンプライアンス教育の実施
- ・ 内部通報制度
(コンプライアンス・ヘルプラインの設置)

株式会社シー・エス・ランバー

【お問い合わせ先】

株式会社シー・エス・ランバー

取締役 管理本部長 鈴木 正裕

TEL 043-213-8810

FAX 043-213-8819

URL <https://www.c-s-lumber.co.jp>

<ご案内>

本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご利用者自身の判断において行われるようお願い申し上げます。

なお、いかなる目的であれ、本資料を当社の許可なく複写複製等を行わないようお願い申し上げます。